

PROJECT
INDEX

企業・経営者様向け資料



地域の
挑戦を
育む。
チャレコミ

チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト（チャレコミ）
事務局：NPO 法人 ETIC.

(1) 実践型インターンシップとは

実践型インターンシップはプロジェクトを加速させたい企業と、成長志向の高い実践や経験の場を求めている学生・若者が会えるプログラムです。

👉 インターンシップの分類

	業務体験型	課題解決型	実践型
企業の導入理由	会社を知ってほしい	今までにない視点が欲しい	事業を推進したい
期間	約1~5日間	約5~2週間	約4週間~半年
内容	会社見学 社員との交流 業務体験…	会社に対する ディスカッションや 意見交換	実際にプロジェクトを 学生とともに実施

👉 こんな企業・団体にオススメ!

会社の将来、事業の成長をかけて、経営者自身が挑戦したいことがある!

人手も無いし、
タイミングも難しいし…

それ、
一緒にやります!



経営者



学生・若者

学生・若者と一緒に挑戦するプロジェクト発足!

わざわざ学生のためにプロジェクトを用意する必要はありません!
ただし、受け入れ側にも覚悟が必要になります。

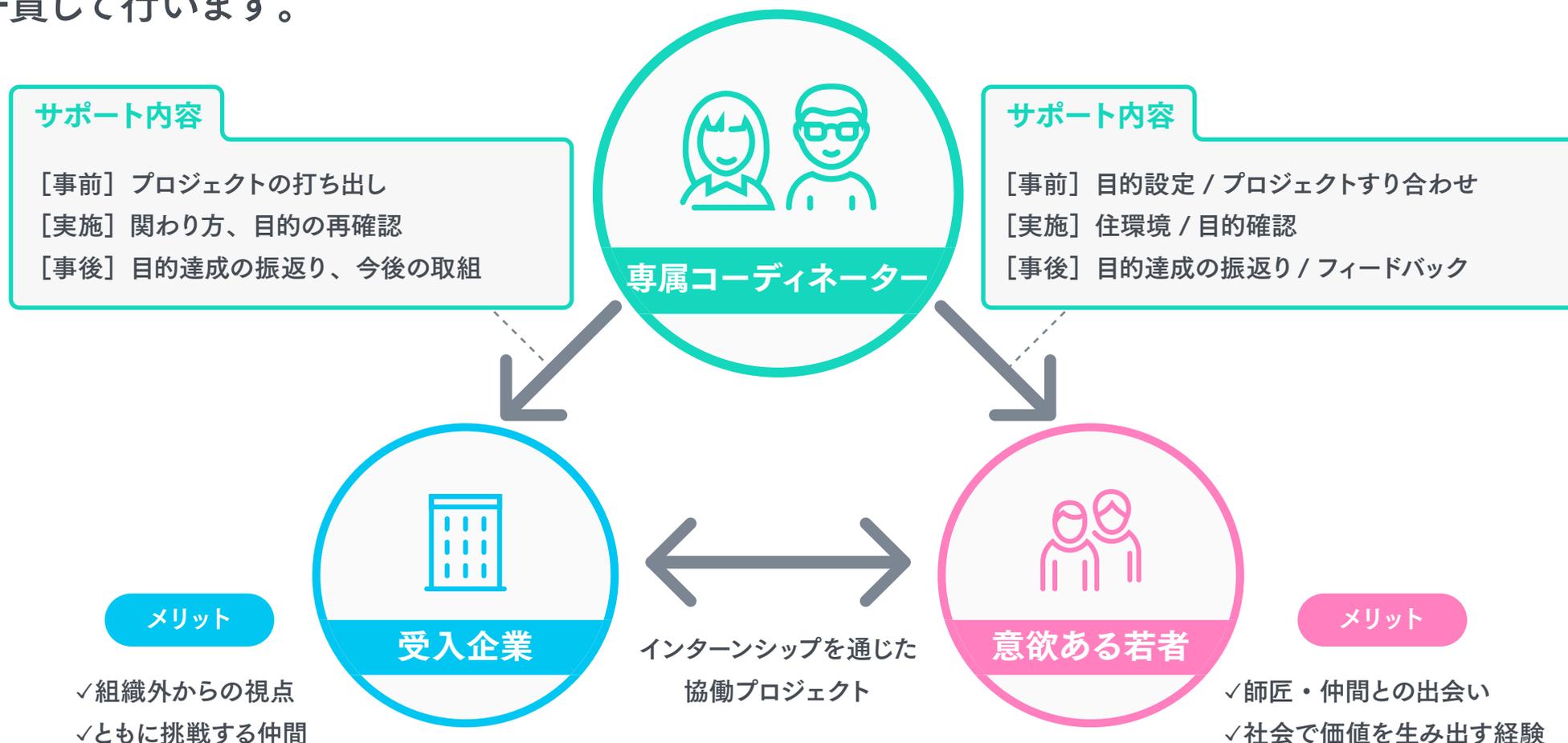
(2) 実践型インターンシップを活用しやすいプロジェクト例

実践型インターンシップは下記のような事業ニーズに導入すると効果的です。

①新規事業の探索・仮説検証	新規事業の探索をしたいが、まだ収益の目途は立っていないので、社員はアサインしにくい。 経営者としての仮説を検証したい。
②新規事業立ち上げ期の推進役	新規事業の立ち上げ・サービスインに向けて加速度的に忙しくなるが、100%その事業の専従はおらず圧倒的に戦力不足。 事業の推進役が欲しい。
③商品・サービスの営業	新しく開発した商品・サービスを中心となって売り、 顧客の反応を見ながら商品・サービスを改善していきたい。 フットワーク軽く営業にまわってくれる人材が欲しい。
④商品・サービスのマーケティング	新規顧客を獲得する 新しい打ち手を、PDCAを高速回転させながら企画・開発していきたいが、その企画・開発の一員となる若い柔軟な発想力が欲しい。
⑤新たな仕組みの開発	新しい仕組みの開発のアイデア、改善していきたいことはあるが 既存業務で手いっぱい手付かずになっている。 そこに着手したい。

(3) 専属コーディネーターについて

実践型インターンシップでは、専属のインターンシップコーディネーターが企業と学生の間に立ち、双方のヒアリングとマッチング、受入準備、期間中のサポート、事後フォローを一貫して行います。



(4) インターンシップを受け入れた企業からの感想

実際に実践型インターンシップを導入された企業から頂いた
コーディネーターの存在についての感想をご紹介します。

<p>学生へのフォロー について</p>	<ul style="list-style-type: none">● 第三者の目線から、経営者と学生の意識のズレを修正してくれた。● 会社への疑問や消化不良の部分を代理で聞いてくれ、橋渡し役になってくれた。● 学生の気持ちの変化は、会社では見えない部分もあるので、日常生活の中で読み取ったことをフィードバックしてもらえて良かった。
<p>学生とのマッチング について</p>	<ul style="list-style-type: none">● 素晴らしい人財を連れてくる、その人間力、発信力。そこが全てだと思う。● 学生集客で苦戦した際、Webの工夫や本部と掛け合いPRを重点的にしてもらい助かった。● インターン後のフォローが多くあり、さらなるインターンシップ生の獲得に繋がった。
<p>ヒアリングや 企業フォローについて</p>	<ul style="list-style-type: none">● 初めての受入れで、進め方かわからなかったが、全般にわたり不安を解消してくれた。● 的確なアドバイスと問いで、学生・企業の課題解決の大きな助けと成果向上になった。● 生活面でのフォロー、市との協働など全体的に相談でき、いなくては成功はないと思う。● インターン生のフォローは勿論、受入れ側のフォローもきめ細かくして頂き、人間関係もスムーズ。お陰でチームとして同じ目線でプロジェクト遂行に邁進できた。

(5) 実践型インターンシップの実施フロー

募集・採用

プロジェクト設計

御社のビジョン・戦略を伺いながら、学生が貢献できる関わり方を模索し、インターン生の業務を設計します。

サイト掲載

御社へのヒアリングをもとに、コーディネーターが募集記事を作成し、サイトに掲載します。写真やプロフィール情報などのご提供をお願いします。

応募者との一次面談

サイトから応募があった場合、まずはコーディネーターが一次面談を実施し、参加動機の確認や、認識のすり合わせを行います。

採用面接

コーディネーターによる一次面談を経て、御社にマッチした人材を人材をご紹介します。

インターン期間

オリエンテーション

コーディネーターが学生と2者で行います。出勤頻度・支援金などの条件面の最終確認と、本人のインターンの目的や成長目標の確認を行います。

目標設定&PJ設計

受入企業・学生・コーディネーターの3者でインターン中の目標設定や過ごし方について相談します。

中間面談

コーディネーターが学生と2者で、近況や目標への進捗を聞きながら、後半の行動計画を立て直します。

振り返り面談

コーディネーターが学生と2者または3者でインターンの経験を振り返り、今後へ活かすために面談を行います。インターン終了の締めくくりとして、社内で「インターン報告会」などを開催いただくのもおすすめです。

(6) 導入費用について

現地での学生の滞在費

CD団体が所有している宿泊施設に滞在するケースもございます。尚、リモートインターンの場合は費用がかかりません。

活動支援金

インターンシップは、自己の成長が目的であるため、労働ではなく、研修であると捉えております。ただし、インターンシップに専念できる環境を担保するため、学生へは【活動支援金】をお支払頂くことをおすすめします。個別の学生の事情やコミットの状況に応じて、ご検討ください。

※ご参考：過去の平均額 交通費別で月3万円～7万円程度

交通費・経費

事業を行う上で必要な交通費やその他経費は、上記の支援金とは別に、実費でお支払いいただいております。

※インターンシップ保険料

各社で必要に応じてご検討ください。ご希望があれば、担当のコーディネーター団体よりインターン保険をご紹介することも可能です。別途お問い合わせください。（半年間1名で4320円程度です。期間や人数により金額が変動するため、詳細はコーディネーターへお問い合わせください）

コーディネーター費用

プロジェクト設計から採用支援・マッチング後の伴走フォローまで、一貫したコーディネーターに対してのコーディネーター費としてお支払い頂いているケースが多いです。詳細は担当のコーディネーター団体へお問い合わせください。